

平成 30 年度
下水道に関する人身事故発生状況について
(平成 30 年 11 月末現在)

1. 総括
2. 維持管理作業
3. 工事

国土交通省 水管理・国土保全局
下水道部

1.人身事故発生状況(総括)

(平成30年11月末現在)

平成30年度

(単位:件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	11月までの集計	合計
維持管理作業	1. 死亡事故	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (1)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (3)	0 (4)
	2. 負傷事故	3 (3)	3 (2)	2 (2)	4 (4)	4 (3)	4 (4)	3 (1)	4 (3)	0 (7)	0 (5)	0 (4)	0 (2)	27 (22)	27 (40)
	合計	3 (3)	3 (2)	2 (2)	4 (5)	4 (3)	4 (4)	3 (2)	4 (4)	0 (8)	0 (5)	0 (4)	0 (2)	27 (25)	27 (44)
	累計	3 (3)	6 (5)	8 (7)	12 (12)	16 (15)	20 (19)	23 (21)	27 (25)	27 (33)	27 (38)	27 (42)	27 (44)	-	-
工事	1. 死亡事故	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (2)	0 (0)	0 (2)	0 (1)	0 (1)	0 (0)	0 (1)	0 (2)	0 (1)	0 (7)	0 (11)
	2. 負傷事故	3 (4)	4 (5)	5 (5)	14 (5)	4 (7)	5 (13)	6 (6)	10 (16)	0 (13)	0 (13)	0 (15)	0 (11)	51 (61)	51 (113)
	合計	3 (4)	4 (5)	5 (6)	14 (7)	4 (7)	5 (15)	6 (7)	10 (17)	0 (13)	0 (14)	0 (17)	0 (12)	51 (68)	51 (124)
	累計	3 (4)	7 (9)	12 (15)	26 (22)	30 (29)	35 (44)	41 (51)	51 (68)	51 (81)	51 (95)	51 (112)	51 (124)	-	-
合計	1. 死亡事故	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (3)	0 (0)	0 (2)	0 (2)	0 (2)	0 (1)	0 (1)	0 (2)	0 (1)	0 (10)	0 (15)
	2. 負傷事故	6 (7)	7 (7)	7 (7)	18 (9)	8 (10)	9 (17)	9 (7)	14 (19)	0 (20)	0 (18)	0 (19)	0 (13)	78 (83)	78 (153)
	合計	6 (7)	7 (7)	7 (8)	18 (12)	8 (10)	9 (19)	9 (9)	14 (21)	0 (21)	0 (19)	0 (21)	0 (14)	78 (93)	78 (168)
	累計	6 (7)	13 (14)	20 (22)	38 (34)	46 (44)	55 (63)	64 (72)	78 (93)	78 (114)	78 (133)	78 (154)	78 (168)	-	-

※下段()書きは前年度(平成29年度)の値
 ※国土交通省へ報告のあった事故について集計

2.人身事故発生状況(維持管理作業)

(平成30年11月末現在)

平成30年度

(単位:件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平成29年度 合計
事業者主体	1. 都道府県	3	1	1	1	0	2	0	2	0	0	0	0	10	15
	2. 政令市	0	2	1	2	0	0	1	1	0	0	0	0	7	13
	3. 一般市	0	0	0	1	3	2	2	1	0	0	0	0	9	15
	4. 町村	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	5. その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合計	3	3	2	4	4	4	3	4	4	0	0	0	27	44
発生施設	1. 管渠	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2. マンホール	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	3	4
	3. 処理場	2	1	1	3	3	2	2	3	0	0	0	0	17	31
	4. ポンプ場	0	0	0	0	1	1	1	1	0	0	0	0	4	1
	5. その他	0	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3	8
	合計	3	3	2	4	4	4	3	4	4	0	0	0	27	44
事故類型	死亡事故	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
	1. 墜落・転落	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	2. はさまれ・巻き込まれ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	3. 飛来・落下	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	4. 切れ・こすれ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	5. 転倒	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	6. 激突	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	7. 土砂崩壊	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	8. 交通事故	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	9. 感電	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	10. おぼれ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	11. 火災・爆発	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	12. 公衆災害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	13. 作業車両の横転	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	14. その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	負傷事故	3	3	2	4	4	4	3	4	4	0	0	0	27	40
	1. 墜落・転落	0	0	0	1	1	0	0	2	0	0	0	0	4	6
	2. はさまれ・巻き込まれ	2	0	1	0	2	3	2	2	0	0	0	0	12	8
	3. 飛来・落下	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	2	2
	4. 切れ・こすれ	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	5. 転倒	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	9
	6. 激突	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	7. 土砂崩壊	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	8. 交通事故	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	9. 感電	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	10. おぼれ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	11. 火災・爆発	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	12. 公衆災害	0	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	5
	13. 作業車両の横転	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	14. その他	0	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	3	7
合計	3	3	2	4	4	4	3	4	4	0	0	0	27	44	
被災者数(人)	1. 自治体職員	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2
	2. 委託先業者	3	0	1	3	4	4	3	4	0	0	0	0	22	39
	3. 第三者	0	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	5
	合計(人)	3	3	2	4	4	4	3	4	4	0	0	0	27	46
	累計	3	6	8	12	16	20	23	27	27	27	27	27	-	-

平成29年度

(単位:人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
被災者数(人)	1. 自治体職員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2
	2. 委託先業者	2	2	1	5	4	3	2	4	7	5	2	2	39
	3. 第三者	1	0	1	0	0	2	0	0	1	0	0	0	5
	合計(人)	3	2	2	5	4	5	2	4	8	5	4	2	46
	累計	3	5	7	12	16	21	23	27	35	40	44	46	-

※国土交通省へ報告のあった事故について集計

人身事故情報データベース(維持管理作業)

平成30年度

平成30年11月末現在

NO.	発生年月日	事故情報			事故概要・発生防止策		被災者
		事業主体	発生施設	事故類型	事故概要	再発防止策等	
11月							
1	H30.11.2	1. 都道府県	処理場	①負傷事故	1.墜落・転落	<p>特高変電所内から管理棟へ戻る際に変電所の階段上部から誤って1m下の地面に転落した。(階段に手すり有り)安全対策として、懐中電灯を所持していたが、階段部周辺には外灯は無く、足下が暗かった。</p> <p>・階段等の視認性を良くするために、動線部に白い色を塗った。 ・点滅灯付カラーコーンを設置し、階段幅の視認性向上。 ・階段以外の段差の箇所にはバリケードを設置し立ち入らない様に措置した。</p>	委託先業者
2	H30.11.9	1. 都道府県	処理場	①負傷事故	2.はさまれ・巻き込まれ	<p>沈砂し渣搬送コンベアのシュート内し渣を掻き落とすため、コンベアを停止し作業を1人で行ってたところ、掻き落としたし渣を流すため単独で運転していた次段(下段)のコンベアベルトにスコップの先端が触れて引き込まれ、持ち手部(左手の甲)がスクレーパ機構部に挟まれて外せなくなった。隣室にいた別の作業員が罹災者の大声に気づき、現場に駆けつけ、次段(下段)コンベアを停止した。</p> <p>・し渣掻き落とし作業時は次段(下段)コンベアも停止する。 ・照明の保持、次段(下段)コンベア運転停止作業等のため2人で作業する。 ・以上を作業手順書に明記し徹底する。</p>	委託先業者
3	H30.11.13	2. 政令市	処理場	①負傷事故	1.墜落・転落	<p>脚立(高さ82cm、横2段 天板あり)を使用して樹木の枝の剪定作業を行っていたところ、バランスを崩して右手から転倒し、骨折した。</p> <p>・危険予知活動を徹底し、安全意識を高め、危険因子を排除する。 ・作業の際は足場台を使用する。 ・不安全行動、不安全状態を作らないように、作業の準備と手順の遵守。</p>	委託先業者
4	H30.11.27	3. 一般市	ポンプ場	①負傷事故	2.はさまれ・巻き込まれ	<p>マンホールポンプ場の点検のため、マンホール鉄蓋を開放し、アスファルトと観音蓋の間に木片を入れたつもりが道路の凹凸で鉄蓋とアスファルトの隙間が無くなり左手薬指を鉄蓋とアスファルトの間にはさまれた。</p> <p>・作業員への安全指導を行う。</p>	委託先業者

3.事故発生状況(工事) (平成30年11月末現在)

平成30年度

(単位:件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平成29年度 合計
事業者主体	1. 都道府県	4	1	1	2	1	0	0	1	0	0	0	0	10	10
	2. 政令市	1	4	3	4	4	4	2	2	0	0	0	0	24	22
	3. 一般市	1	3	5	11	3	6	7	11	0	0	0	0	47	88
	4. 町村	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	13
	5. その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7
	合計	6	8	10	18	8	10	9	14	0	0	0	0	83	140
工事分類	1. 管きょ開削	3	6	7	9	4	9	8	10	0	0	0	0	56	86
	2. 管きょ推進	1	1	2	2	0	0	0	2	0	0	0	0	8	18
	3. 管きょシールド	2	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	4	3
	4. 管きょその他	1	0	0	3	3	1	0	0	0	0	0	0	8	8
	5. 処ポ土木建築	0	1	0	0	1	0	0	2	0	0	0	0	4	13
	6. 処ポ機械電気	0	0	0	3	0	0	1	0	0	0	0	0	4	8
	7. 処ポその他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
	合計	7	8	10	18	8	10	9	14	0	0	0	0	84	140
事故類型	1. 墜落・転落	0	3	3	2	0	1	2	2	0	0	0	0	13	30
	2. はさまれ・巻き込まれ	1	0	0	3	1	1	2	0	0	0	0	0	8	29
	3. 飛来・落下	1	0	0	2	0	0	0	2	0	0	0	0	5	10
	4. 切れ・こすれ	0	0	0	2	1	1	0	0	0	0	0	0	4	4
	5. 転倒	1	1	2	0	1	0	1	2	0	0	0	0	8	5
	6. 激突	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10
	7. 土砂崩壊	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	3	13
	8. 交通事故	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	2	4
	9. 感電	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	10. おぼれ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	11. 火災・爆発	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	12-1. 公衆災害(人身)	0	0	0	2	1	0	0	1	0	0	0	0	4	14
	12-2. 公衆災害(物損)	4	4	5	4	4	5	3	3	0	0	0	0	32	17
	13. 作業車両の横転	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
14. その他	0	0	0	3	0	0	0	2	0	0	0	0	5	4	
合計	7	8	10	18	8	10	9	14	0	0	0	0	84	140	
被災者数(人)	1. 死亡	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11
	2. 重傷	2	4	5	9	3	5	5	8	0	0	0	0	41	81
	3. 軽傷	1	1	1	10	1	0	1	2	0	0	0	0	17	38
	合計(人)	3	5	6	19	4	5	6	10	0	0	0	0	58	130
累計	3	8	14	33	37	42	48	58	58	58	58	58	-	-	
その他(民間発注工事など)															
1. 死亡	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
2. 負傷	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0

平成29年度

(単位:人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
被災者数(人)	1. 死亡	0	0	1	2	0	2	1	1	0	1	2	1	11
	2. 重傷	1	4	4	2	5	8	4	13	8	9	13	10	81
	3. 軽傷	3	1	1	3	3	4	2	3	6	4	7	1	38
	合計(人)	4	5	6	7	8	14	7	17	14	14	22	12	130
累計	4	9	15	22	30	44	51	68	82	96	118	130	-	
その他(民間発注工事など)														
1. 死亡	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
2. 負傷	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※国土交通省へ報告のあった事故について集計

事故情報データベース(工事)

平成30年度

平成30年11月末現在

NO.	発生年月日	工事情報			事故情報			被災者		
		事業主体	工事分類	従事作業	発生場所	事故概要	事故類型	年齢	性別	被害状況
11月										
1	H30.11.1	3.一般市	1.管きょ開削	交通誘導	現場外	下水道工事に伴う交通誘導において、罹災者が交通誘導の際、一般車両の前方不注意により轢かれた。	8.交通事故	65	男	両足首骨折(全治3ヶ月)
2	H30.11.2	2.政令市	1.管きょ開削	ウェルポイント工	現場内	ウェルポイント工法で使用していた送水するホースが地上部に設置してあり、そのホースに通行人が躓いて転倒し、地面に右手首をついて骨折した。	12-1.公衆災害(人身)	88	女	右橈尺骨遠位端骨折
3	H30.11.5	3.一般市	5.処ボ土木建築	薬液注入工	現場内	最終沈殿池流出水路工の薬液注入工において、削孔作業終了後、ケーシング(φ90mm)を引き抜く作業中、切り離したケーシングが真下に落下して手の甲を挟めてしまい、出血した。	3.飛来・落下	34	男	右手背挫創
4	H30.11.12	3.一般市	1.管きょ開削	交通誘導	現場内	交通誘導員が、機器(戸当金物)搬入トラックを誘導していたところ、車両左後方が単管に当たりそうだった為、運転手に急ぎ合図しようと思い右側へ移動した際に踏きその勢いで隣接する建築工事の掘山へ転落した。	1.墜落・転落	59	男	前頭部、首、右手首、左膝打撲
5	H30.11.14	3.一般市	1.管きょ開削	掘削作業	現場内	路盤が崩れアスファルトだけの状態になっていた場所に立って掘削箇所を覗き込んだ際に、足元が崩れて転落した。	1.墜落・転落	61	男	背骨骨折、背骨及び肋骨ヒビ
6	H30.11.15	2.政令市	1.管きょ開削	掘削作業	現場内	下水管(φ830mm)の入替を行うため、掘削作業を行っている最中に、ガスのマーキングを見落とし、ガスの引込管を損傷させた。	12-2.公衆災害(物損)			
7	H30.11.15	3.一般市	1.管きょ開削	仮設工	現場内	ウォータージェット併用圧入工法により鋼矢板打込み作業中、ウォータージェットのノズルが外れ、ホースが罹災者の顔に当たった。罹災者の意識はあるものの痛みを訴えているため、救急搬送を行った。	14.その他	46	男	右頭蓋底骨折
8	H30.11.15	3.一般市	1.管きょ開削	掘削作業	現場内	午前10時30分頃、掘削面が突如崩壊し、下水道管布設のため丁張設置作業中の作業員にアスファルト舗装版が落下し、足(膝下両足)をはさまれた。	7.土砂崩壊	43	男	右脛骨高原骨折
9	H30.11.17	3.一般市	2.管きょ推進	推進工	現場内	泥土圧推進工法により推進工事を実施していたが、掘進中の土砂の取り込みすぎにより路面が陥没した。	14.その他			
10	H30.11.19	3.一般市	2.管きょ推進	支圧壁取壊し工	現場内	支圧壁を解体するために支圧壁の天端に上がり、削岩機で穴を開ける途中で削岩機のロット部分が折れて、削岩機本体のロットが安全靴の保護材が無い左足の甲に落下し、左足の3本が骨折した。	3.飛来・落下	61	男	左足指骨折
11	H30.11.22	4.その他	7.処ボその他	床板配列作業	現場内	高濃度濃縮機架台の床板配列作業時に床板を引張りながら安全帯の掛け替えを行っていたが、作業員が床板から手が滑り、勢い余って架台開口部より1階基礎床盤に墜落した。	1.墜落・転落	18	男	軸椎歯突起骨折
12	H30.11.26	3.一般市	1.管きょ開削	掘削作業	現場内	汚水管を布設するにあたり、掘削箇所を横断するガス供給管を、バックホウのバケットにより損傷させた。	12-2.公衆災害(物損)			
13	H30.11.27	3.一般市	1.管きょ開削	表層工	現場内	表層(アスファルト合材)をハンドガイドローラーにて前後方に転圧していたところ、後退時に足がもつれて転倒し、そのまま後退してきたローラーに右足をひかれ転倒した。	5.転倒	53	男	右足脛骨折
14	H30.11.27	1.都道府県	5.処ボ土木建築	施工状況写真撮影作業	現場内	施工状況写真撮影補助のため、足場一段目で黒板を持っていた。移動のため振り向いた際、右足が足場板の隙間に挟まり転倒し、左膝を打った。	5.転倒	58	男	左脛骨高原骨折
15	H30.11.30	3.一般市	1.管きょ開削	掘削作業	現場内	汚水管を布設するにあたり、掘削箇所を横断するガス供給管を、バックホウのバケットにより損傷させた。	12-2.公衆災害(物損)			

平成 30 年度
下水道に関する水質事故等発生状況について
(平成 30 年 11 月末現在)

国土交通省 水管理・国土保全局
下水道部

水質事故等発生状況 (平成30年11月末現在)

[総括]

(単位:件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	水質事故等 合計	4 (1)	6 (3)	2 (6)	9 (6)	3 (1)	8 (11)	4 (5)	4 (6)	0 (7)	0 (3)	0 (4)	0 (0)	40 (53)
	累計	4 (1)	10 (4)	12 (10)	21 (16)	24 (17)	32 (28)	36 (33)	40 (39)	40 (46)	40 (49)	40 (53)	40 (53)	- -

[内訳]

(単位:件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
事業主体	1. 都道府県	1 (1)	1 (1)	0 (2)	4 (2)	0 (1)	0 (3)	2 (1)	3 (1)	0 (1)	0 (1)	0 (1)	0 (0)	11 (15)
	2. 政令市	0 (0)	2 (1)	2 (0)	0 (1)	2 (0)	0 (5)	0 (1)	0 (0)	0 (2)	0 (1)	0 (1)	0 (0)	6 (12)
	3. 一般市	3 (0)	3 (1)	0 (3)	4 (3)	1 (0)	7 (3)	2 (3)	1 (5)	0 (4)	0 (1)	0 (2)	0 (0)	21 (25)
	4. 町村	0 (0)	0 (0)	0 (1)	1 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (1)
	5. その他	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	合計	4 (1)	6 (3)	2 (6)	9 (6)	3 (1)	8 (11)	4 (5)	4 (6)	0 (7)	0 (3)	0 (4)	0 (0)	40 (53)
発生施設	1. 管渠	1 (1)	4 (2)	1 (3)	3 (1)	0 (0)	2 (2)	2 (1)	1 (3)	0 (4)	0 (1)	0 (2)	0 (0)	14 (20)
	2. マンホール	1 (0)	0 (1)	0 (0)	1 (2)	2 (0)	1 (2)	0 (2)	0 (1)	0 (0)	0 (2)	0 (0)	0 (0)	5 (10)
	3. 処理場	2 (0)	1 (0)	1 (3)	4 (3)	0 (1)	3 (5)	2 (1)	2 (0)	0 (2)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	15 (16)
	4. ポンプ場	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	1 (1)
	5. その他	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	2 (2)	0 (1)	1 (2)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	5 (6)
	合計	4 (1)	6 (3)	2 (6)	9 (6)	3 (1)	8 (11)	4 (5)	4 (6)	0 (7)	0 (3)	0 (4)	0 (0)	40 (53)
原因者	1. 下水道管理者(委託先含む)	0 (1)	3 (3)	2 (3)	4 (3)	0 (0)	1 (6)	1 (3)	2 (4)	0 (2)	0 (2)	0 (2)	0 (0)	13 (29)
	2. 民間事業者(一般人を含む)	2 (0)	2 (0)	0 (2)	1 (1)	1 (0)	0 (1)	1 (0)	1 (0)	0 (2)	0 (1)	0 (1)	0 (0)	8 (8)
	3. その他(天災、原因者不明含む)	2 (0)	1 (0)	0 (1)	4 (2)	2 (1)	7 (4)	2 (2)	1 (2)	0 (3)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	19 (16)
	合計	4 (1)	6 (3)	2 (6)	9 (6)	3 (1)	8 (11)	4 (5)	4 (6)	0 (7)	0 (3)	0 (4)	0 (0)	40 (53)
事故類型	① 悪質下水の流入(放流水質が基準に不適合)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	3 (1)
	② 悪質下水の流入(放流水質が基準に適合)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (1)	0 (0)	0 (1)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (3)
	③ 悪質下水の流入によらない放流水質の基準不適合	0 (0)	1 (0)	0 (0)	1 (1)	0 (1)	1 (1)	1 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	5 (3)
	④ 雨水管からの悪質下水の流出	0 (0)	1 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (0)	0 (1)	0 (1)	1 (0)	0 (1)	0 (1)	0 (1)	0 (0)	4 (5)
	⑤ 下水道施設からの下水等の流出	2 (1)	4 (2)	2 (2)	4 (1)	0 (0)	3 (3)	1 (2)	2 (4)	0 (3)	0 (2)	0 (1)	0 (0)	18 (21)
	⑥ その他事故(①～⑤以外の事故)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	2 (0)	0 (1)	0 (2)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (5)
	水質事故 合計	2 (1)	6 (2)	2 (4)	7 (3)	1 (1)	7 (6)	4 (4)	4 (6)	0 (6)	0 (3)	0 (2)	0 (0)	33 (38)
その他案件	2 (0)	0 (1)	0 (2)	2 (3)	2 (0)	1 (5)	0 (1)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (2)	0 (0)	7 (15)	
水質事故等 合計	4 (1)	6 (3)	2 (6)	9 (6)	3 (1)	8 (11)	4 (5)	4 (6)	0 (7)	0 (3)	0 (4)	0 (0)	40 (53)	
状況分類	① 耐用年数経過	0 (0)	0 (0)	1 (1)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	4 (2)
	② 耐用年数以内	2 (1)	2 (1)	0 (2)	2 (3)	1 (0)	1 (1)	0 (2)	1 (3)	0 (3)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	9 (17)
	③ 天災等	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	合計	2 (1)	2 (1)	1 (3)	3 (3)	2 (0)	2 (1)	0 (2)	1 (3)	0 (4)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	13 (19)

※状況分類については水質事故等において、事故発生原因が下水道施設の損傷または、設備の故障によるものを集計

※()内書きは、前年度(平成29年度)の値

※国土交通省へ報告のあった事故について集計

水質事故等情報データベース

平成30年度

平成30年11月末現在

NO.	発生年月日	事故情報			状況分類		事故概要・対応	
		事業主体	発生施設	事故類型	供用年数 ／ 標準耐用年数	損傷・故障 の発生状況	事故概要	事故への対応
11月								
1	H30.11.15	1. 都道府県	処理場	水質事故	③悪質下水の流入によらない放流水質の基準不適合			<ul style="list-style-type: none"> ○放流再開時の水質監視体制や揚水再開の判断基準等を定めたマニュアルを作成する。 ・放流再開時に確保するDO値の設定 ・放流再開時の水質項目の注意値、警戒値の設定 ・復電後、処理が安定するまでの体制の見直し等 ○運転操作に影響する工事等が重複する際は、リスク等を事前に検討し、工事間の調整を図る。 ○流入水による異常水質事故マニュアルに、放流水質異常時の対応を追加する。 ・異常発生時の揚水停止基準の設定 ・異常時における優先事項の明確化
2	H30.11.16	3. 一般市	その他	水質事故	④雨水管からの悪質下水の流出			<ul style="list-style-type: none"> ・河川に油が流出しているとの通報があり、付近の燃料店からの流出であった。 ・燃料店がオイルピットの清掃を怠っていたため、容量の限界を超え公共雨水枝線へ流出した。 <ul style="list-style-type: none"> ・公共雨水枝線管路内及び河川流出口にオイルマットを設置し、油を回収した。 ・燃料店に対し、オイルピットの清掃及び公共雨水枝線管内の清掃を実施するよう指導。

水質事故等情報データベース(原因:施設損傷・設備故障によるもの)

平成30年度

平成30年11月末現在

	発生年月日	事故情報			状況分類		事故概要・対応	
		事業主体	発生施設	事故類型	供用年数 ／ 標準耐用年数	損傷・故障 の発生状況	事故概要	事故への対応
11月								
1	H30.11.16	1. 都道府県	管渠	水質事故	⑤下水道施設からの下水等の流出	21/50	耐用年数以内	<ul style="list-style-type: none"> ・管渠パトロール班が橋に添架されている下水道管渠からの漏水を発見。下水道管渠の伸縮継手部からの汚水の流出。 <ul style="list-style-type: none"> ・事業者により応急対応を実施した(ドレインタイト巻きにて漏水箇所の応急処置。漏水停止確認)。 ・汚水は側溝内に留まっており、公共用水域への流出はなし。
2	H30.11.24	1. 都道府県	処理場	水質事故	⑤下水道施設からの下水等の流出		確認中	<ul style="list-style-type: none"> ・汚泥濃縮設備へ汚泥を移送する配管のジョイント部が外れたため汚泥が流出した。 ・配管に不具合が生じた理由を含め、現在詳細に原因を調査中。 <ul style="list-style-type: none"> ・原因が判明次第防止策を策定予定